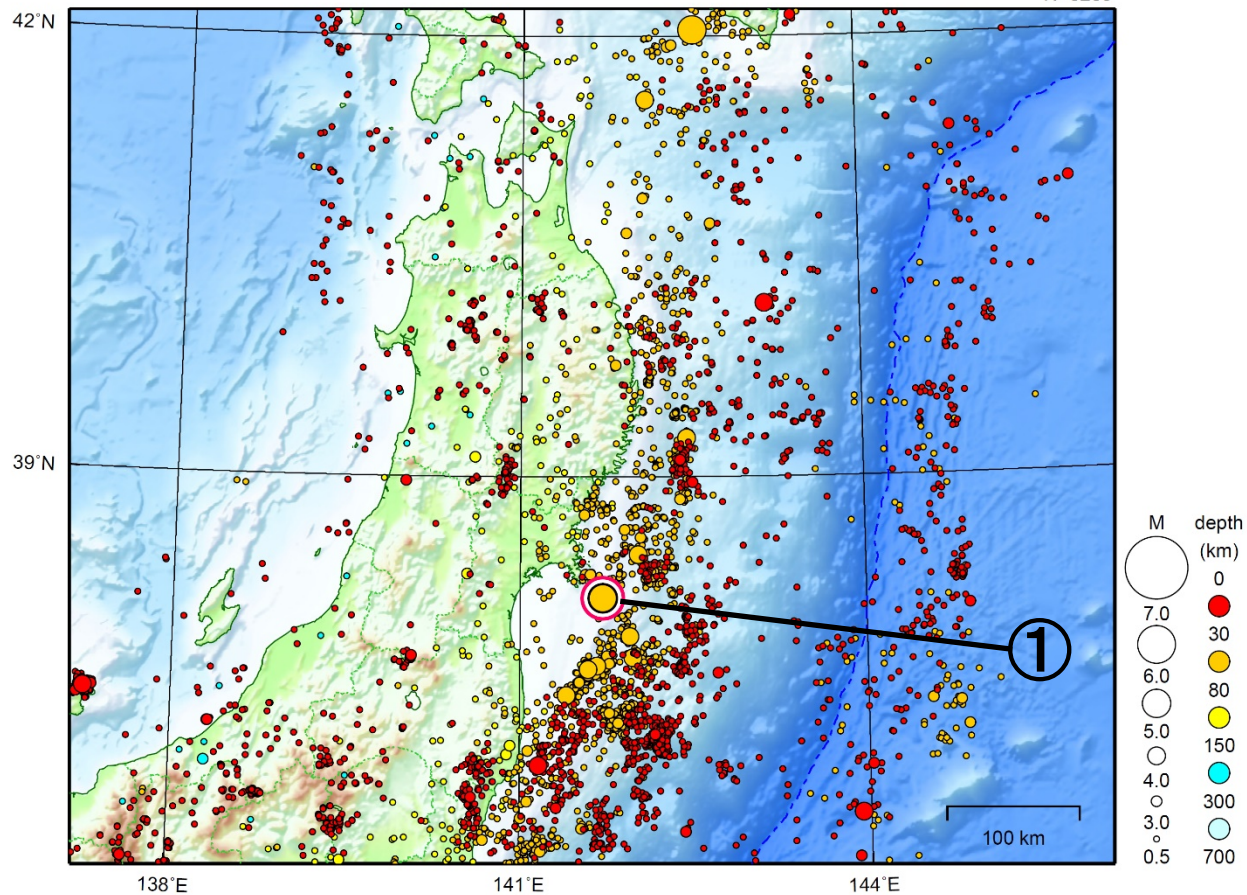


東北地方

2022/02/01 00:00 ~ 2022/02/28 24:00

N=5259



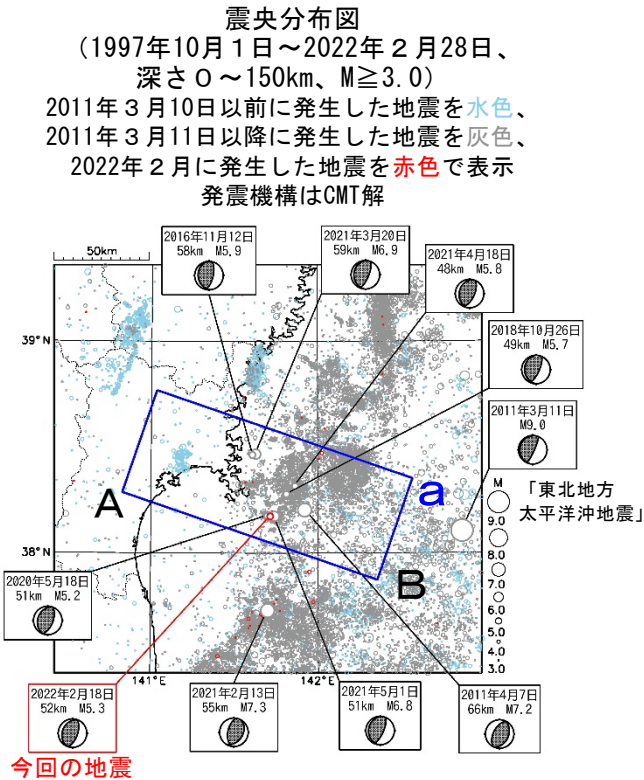
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 2月18日に宮城県沖で M5.3 の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

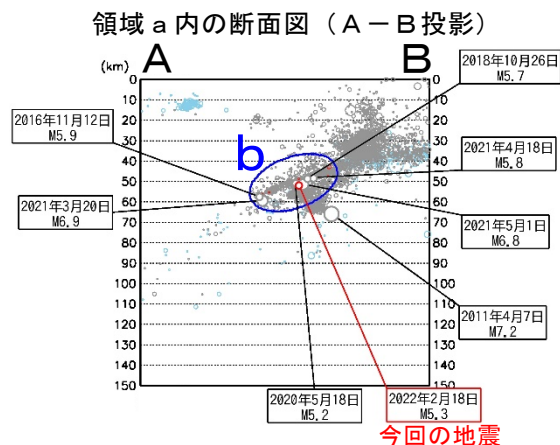
2月18日 宮城県沖の地震



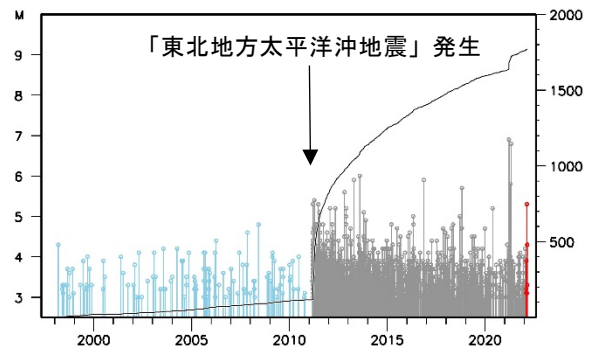
2022年2月18日11時55分に宮城県沖の深さ52kmでM5.3の地震（最大震度4）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生前はM5.0以上の地震は発生していなかった。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震発生数が増加し、M5.0以上の地震が時々発生している。

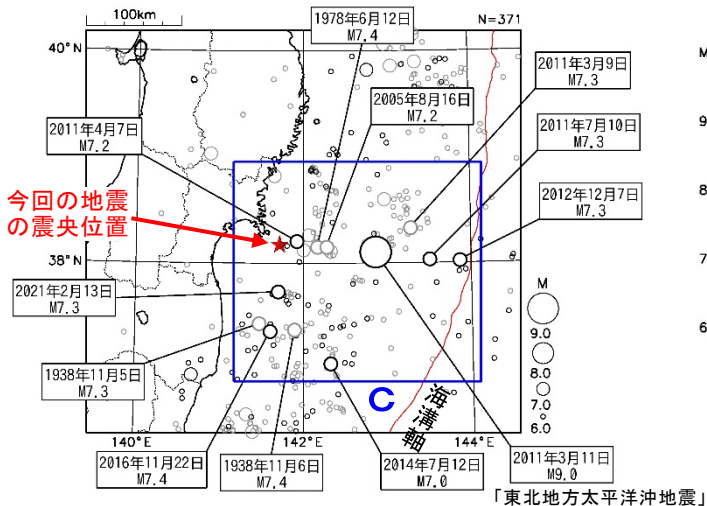
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発前からM7.0以上の地震が時々発生している。このうち、1978年6月12日に発生した「1978年宮城県沖地震」（M7.4、最大震度5）では、気仙沼漁港で120cm（全振幅）の津波を観測した。この地震により、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟、半壊5,574棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。



領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2022年2月28日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
2011年3月11日以降に発生した地震を濃く表示
「1978年宮城県沖地震」



領域c内のM-T図

